

KIKUYO TOWN

第7期菊陽町総合計画 | 2025▶2034 |

ともに 輝き 成長しつづけるまち 菊陽

こども版



菊陽町は、これまでの先人たちのたゆまぬ努力によって、
産業や住環境、自然環境のバランスが取れた豊かな町として発展してきました。

現在、町では世界的な半導体企業の進出をきっかけに、様々な環境の変化が起こっています。

このような変化に対応するために
町では新しい「第7期菊陽町総合計画」をつくりました。

また、今回の第7期菊陽町総合計画をつくる際には、
中学生の皆さんにもアンケートに協力していただきました。

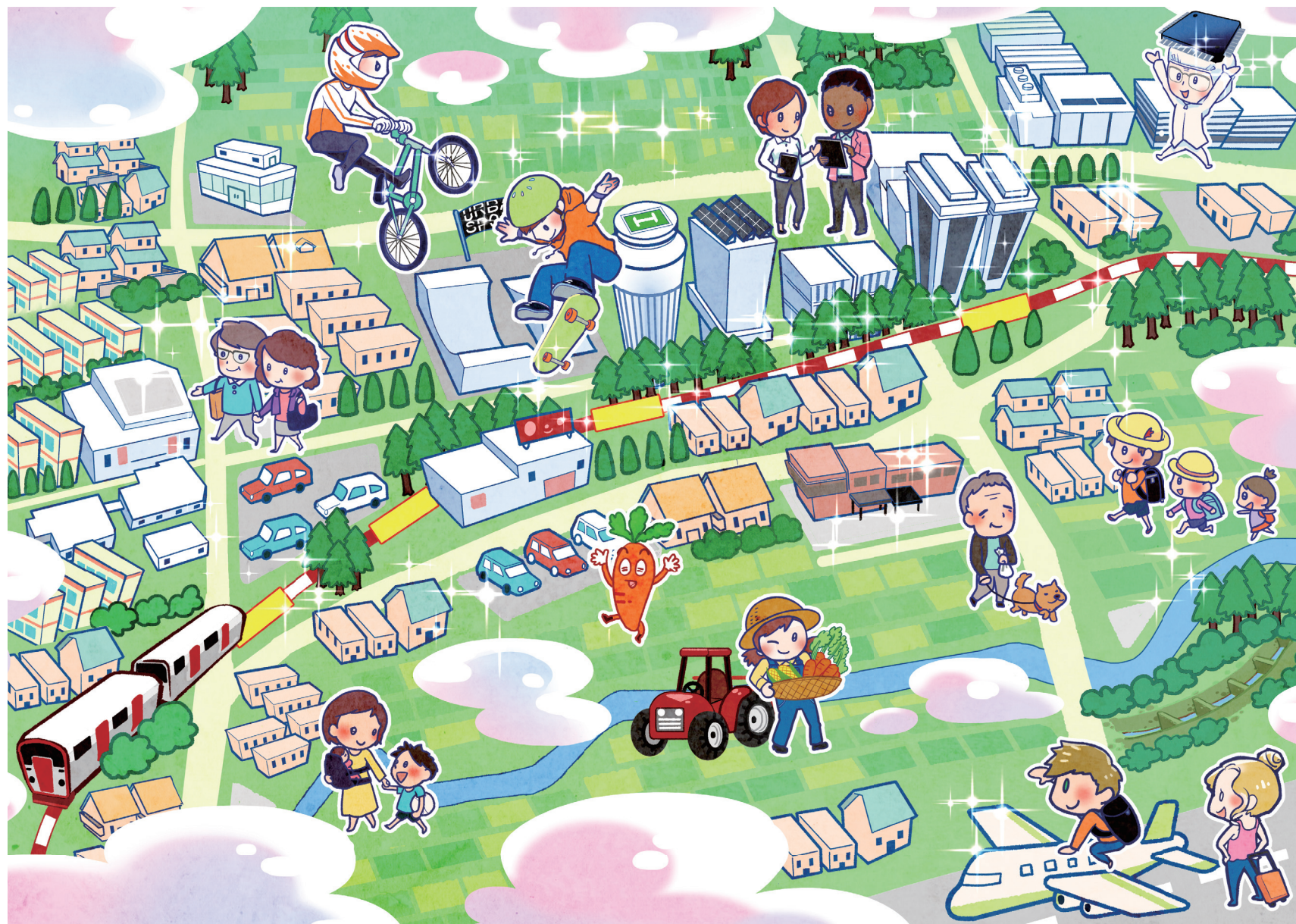
この度、「こども版」の第7期菊陽町総合計画をつくりましたので、
これをきっかけに、町の将来を担うこどもたちにも菊陽町について考えていただきたいです。

そして、「10年後の菊陽町」のイラストのような、
「ともに 輝き 成長しつづけるまち 菊陽」を一緒につくっていきましょう。



菊陽町長
吉本孝寿

10年後の菊陽町～イメージイラスト～



イラスト：前田 地生(菊陽町PR大使)

菊陽町ってどんなまち？

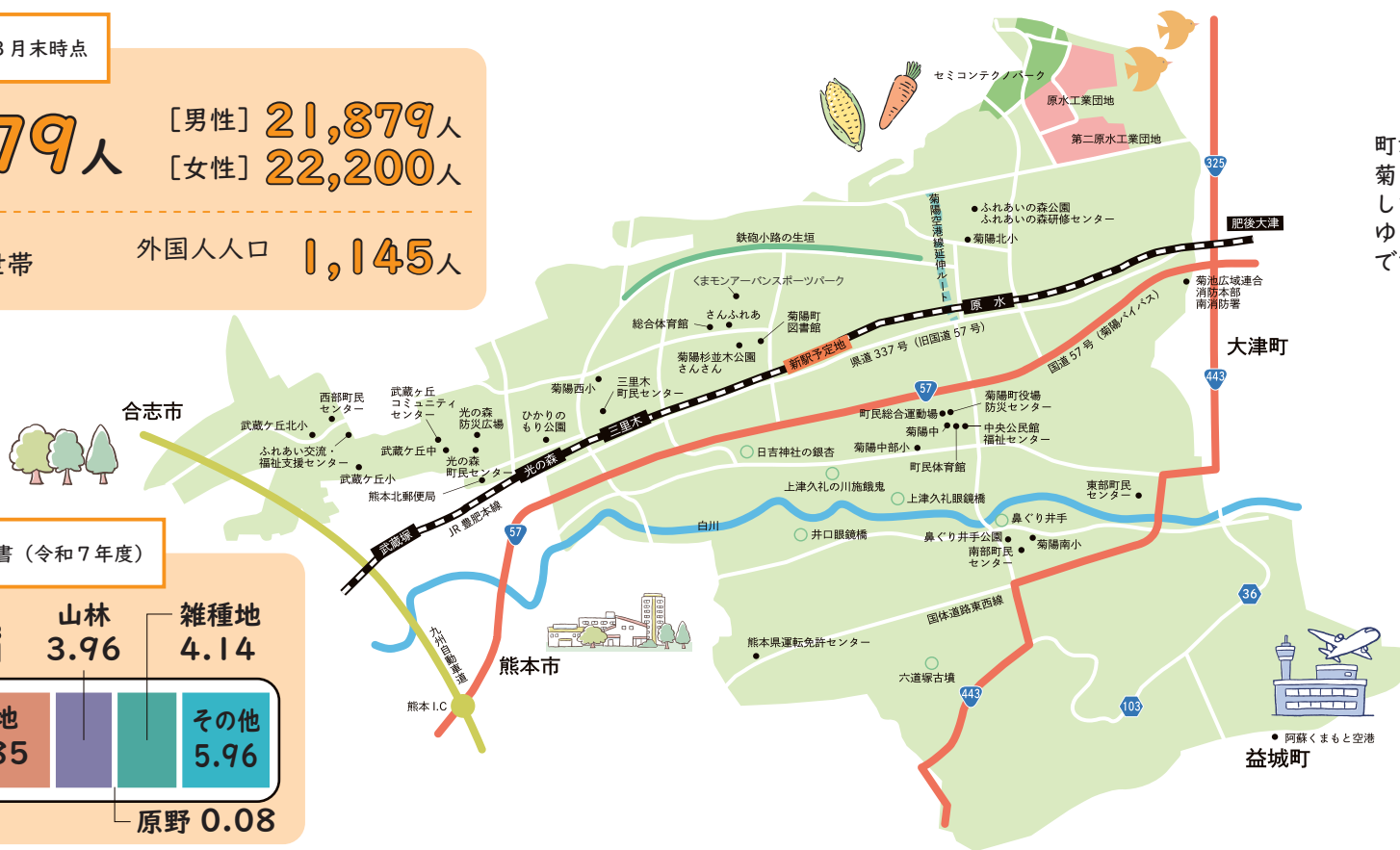
人口・世帯数 令和8年3月末時点

総人口 **44,079人** [男性] 21,879人 [女性] 22,200人

世帯数 **20,127世帯** 外国人人口 **1,145人**



土地用途 固定資産概要調書（令和7年度）



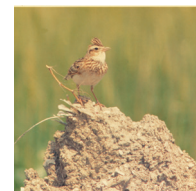
町章
菊陽の“キ”を図案化して、平和の鳥とのびゆく町を表現したものです。



町花 菊



町木 杉



町の鳥 ひばり



町のマスコットキャラクター
キャロッピー

菊陽町について知っていることを何でもかいてみよう

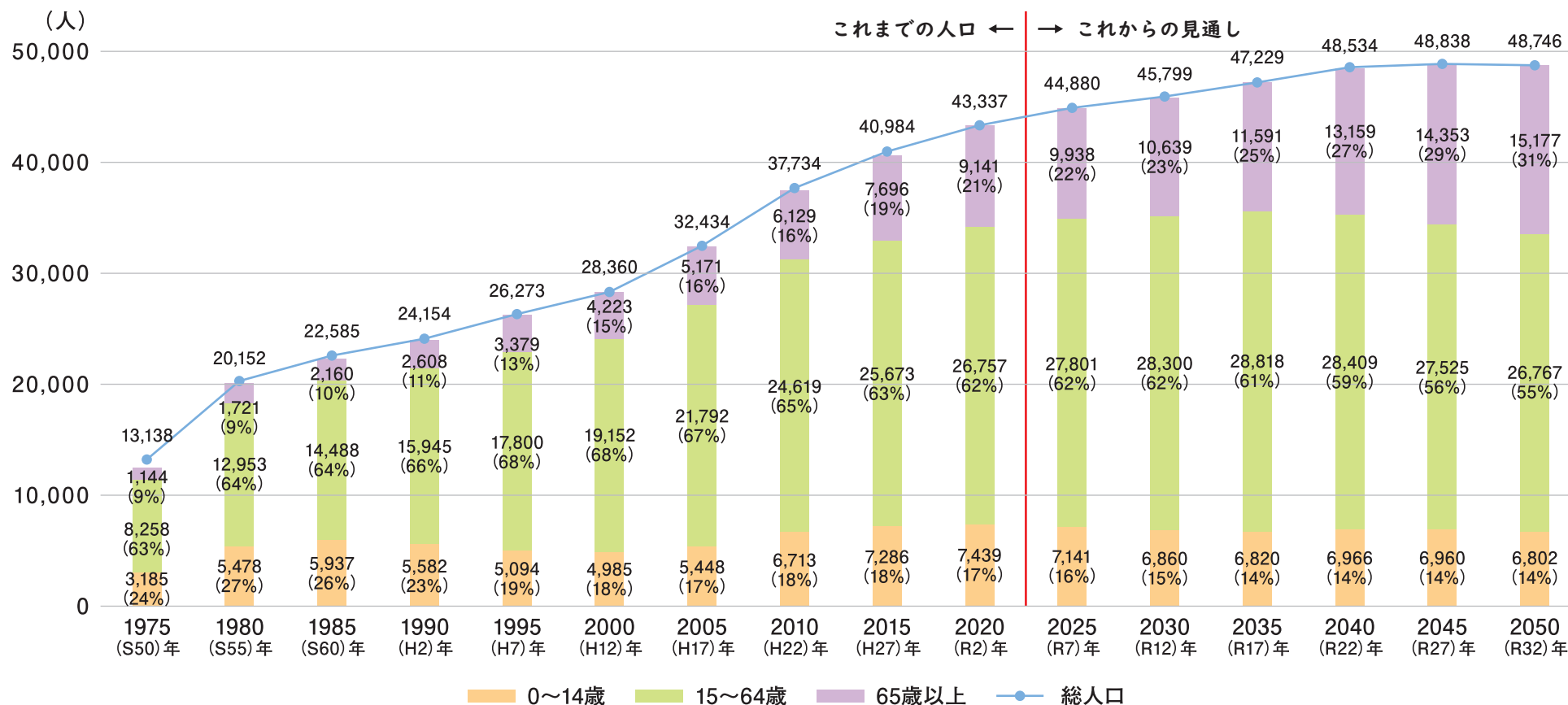
町の人口の変化

菊陽町の人口は、交通アクセスの良さや買い物のしやすさ、働く場所が集まっていることなどから

1970年代以降、増え続けていて、最近では外国人も増え、約1,100人が住んでいます。

町の人口は、2045年頃をピークに、約49,000人まで増えると予測していますが、その後は少しずつ減っていくと見込んでいます。

年齢ごとの人口のこれまでとこれから



出典：国勢調査 ※総人口には、年齢がわからない人も含まれているので、全部を足しても、総人口と同じにならないことがあります。

総合計画とは

総合計画は、これからの菊陽町をどんなまちにしていくか
そのためにどんなことに取り組むのかを考えるための計画です。

第7期菊陽町総合計画は、
「基本構想」と「基本計画」の2つで構成していて
基本構想の期間は、2025年度から2034年度までの10年間です。
基本計画の期間は、そのうち前期5年間、後期5年間です。
それぞれの役割は次のとおりです。

基本構想

町の将来像と、その実現に向けた指針を示す構想で、町の様々な計画の最上位に
位置づけられます。

基本計画

基本構想の実現に向け
て必要となる施策につい
て、その方向性を体系的
に示す計画です。

基本理念

めざすまちの姿

まちづくりの基本方針

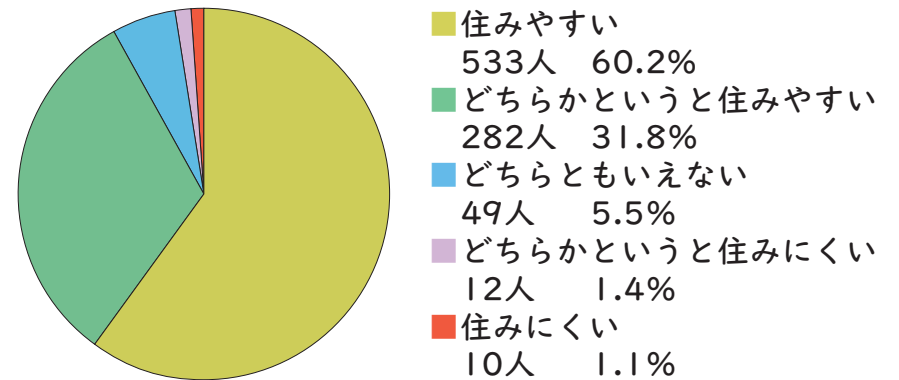
政策分野

基本施策

菊陽町では、世界的半導体企業T S M Cの進出による環境の変化に対応するため
計画期間中だった第6期菊陽町総合計画の見直しではなく、新しい「第7期菊陽町総合計画」を2025年3月につくりました。

町の住みやすさ

この第7期菊陽町総合計画では、
中学生の皆さんの意見も反映させたいと、
アンケートを実施しました。
アンケートでは、菊陽町の住みやすさについて、
中学生の皆さんが、次のように感じていることがわかりました。



Q 1 あなたはどんなところが住みやすいと思いますか

Q 2 あなたはどんなところが住みにくいと思いますか

Q 1 - 1 住みやすさをこれからも続けていくために大切だと思うことは何ですか

Q 2 - 1 住みやすくするためにはどんなことをすると良いと思いますか

皆さんは、どんなことを考えましたか？

菊陽町では、町に住んでよかったと思ってもらえるために、次のように考えました。

まちづくりの基本方針

第7期菊陽町総合計画では、「快適なまち」、「豊かなまち」、「誇れるまち」の3つをまちづくりにおける基本理念に掲げて、めざすまちの姿を「**ともに 輝き 成長しつづけるまち 菊陽**」としました。

その実現に向けて、4つの基本方針に沿ってまちづくりを進めます。

基本方針 1

未来ある まちづくり

豊かな自然を大切に守り、子育て支援やデジタル技術の活用など、未来を見据えたまちづくり



基本方針 2

やすらぎの まちづくり

住み慣れた場所で、長く暮らし続けることができ、災害に強い、やすらぎを感じられるまちづくり



基本方針 3

魅力ある まちづくり

農業・商業・工業が、バランスよく発展していて、スポーツや文化にも触れられる魅力あふれるまちづくり



基本方針 4

つながり育む まちづくり

誰も孤立することがなく、必要なときに助け合うことができ、人や地域、企業がつながるまちづくり



政策分野

4つのまちづくりの基本方針に沿って、8つの政策分野を設定して、様々な取り組みを進めます。

1

あらゆる人が
自分らしく暮らせる
まちへ



生活

お年寄りや障がいがある人を支え、健康づくりや公共交通を充実させて、みんなが暮らしやすいまちをつくります。

そして、人権を大切にし、文化の違いを認め合うことで、あらゆる人が自分らしく暮らせるまちを目指します。

基本計画

基本施策

- **高齢者福祉**
(お年寄りが安心して元気に暮らせるための取り組み)
- **障がい者福祉**
(障がいがある人が安心して自分らしく暮らせるための取り組み)
- **健康づくり**
(みんなが元気で健康に暮らせるための取り組み)
- **社会保障・地域福祉**
(医療・介護や、困ったときに支え合うための取り組み)
- **公共交通**
(みんながバスや電車で移動しやすくするための取り組み)
- **人権・男女共同参画**
(誰もが大切にされ、平等に活躍できるための取り組み)
- **多文化共生・国際交流**
(国や文化の違いを超えて、みんなが安心して暮らせるための取り組み)

2

いまを守り
未来につなぐ
まちへ



未来

子育てを応援し、町の将来を担う子どもたちが安心して育つまちをつくります。

そして、自然や地下水を守り、未来の世代のための環境対策を進めることで、いまを守り未来につなぐまちを目指します。

基本計画

基本施策

- **子育て**
(安心して子どもを育て、子どもが健やかに成長できるための取り組み)
- **生活環境**
(地下水などの自然を大切に、環境を守るための取り組み)

3

それぞれの暮らしを
守り抜く
まちへ



安 全

防災センターと避難場所のつながりや、防災・防犯体制を強化して、災害に強く、犯罪が少ないまちをつくります。

そして、交通安全を充実させ、消費者を守る取り組みを進めることで、それぞれの暮らしを守り抜くまちを目指します。

基 本 計 画

基本施策

- 防災・減災・消防
(災害から命と暮らしを守り、地域で助け合えるようにするための取り組み)
- 交通安全・防犯・消費者保護
(事故や犯罪、トラブルからみんなの暮らしを守るための取り組み)

4

多様な学びが
あふれる
まちへ



教 育

学校での学びを充実させ、本物に触れる体験を通して、自分で考え行動できる力を育てます。

そして、こどもから大人まで学び続けられる機会をつくることで、多様な学びがあふれるまちを目指します。

基 本 計 画

基本施策

- 学校教育
(こどもたちが学ぶ環境を整え、より良い教育を受けるための取り組み)
- 生涯学習
(年齢に関係なく、誰でも学べる機会をつくるための取り組み)

5

誰もが誇り
活気に満ちた
まちへ



地 域

地域の良さを生かし、バランスをとりながらまちづくりに取り組みます。

そして、人と地域の交流を広げ、たくさんの賑わいをつくることで、誰もが誇り活気に満ちたまちを目指します。

基 本 計 画

基本施策

○ 都市基盤

(道路や公園などをつかって、みんなが暮らしやすいまちにするための取り組み)

○ 観光・にぎわい

(たくさんの人が町を訪れ、活気に満ちた町にするための取り組み)

6

喜びや楽しみが
新たに見つかる
まちへ



スポーツと文化

誰もがスポーツを楽しめる環境を整え、新しいスポーツのイベントや大会で町を元気にします。

そして、文化や芸術を通して、様々な世代に交流を広げることで、喜びや楽しみが新たに見つかるまちを目指します。

基 本 計 画

基本施策

○ スポーツ

(みんなが楽しく、気軽にスポーツに親しめるための取り組み)

○ 文化

(地域の文化や伝統を大切にして、次の世代につなぐための取り組み)

7

さまざまな可能性が
花ひらく
まちへ



潜在能力

町の発展を支えてきた農業をはじめ、商業や工業を更に発展させ、新しい産業も育てます。

そして、誰もが働いたり、新しい事業にチャレンジできる機会をつくることで、さまざまな可能性が花ひらくまちを目指します。

基本計画

基本施策

○ 農業

(地域の農業を守って、若い人も農業にチャレンジできるようにするための取り組み)

○ 商業

(町内の会社も大切に、新たなお店や仕事も生みだすための取り組み)

○ 工業

(工場や会社を応援して、地域で安定した仕事を増やすための取り組み)

8

さらに
町民志向の
まちへ



DX



町民サービス

無駄のない町の運営と役場職員の能力を高め、役場のサービスをより良くします。

そして、デジタル化や地域との協力を進めることで、さらに町民志向のまちを目指します。

基本計画

基本施策

○ 参画・協働

(みんなでまちづくりに参加して、力を合わせるための取り組み)

○ 行財政運営・自治体DX

(効率的に仕事をして、お金を大切に使い、デジタルの力で手続きを便利にするための取り組み)

あなたは将来の菊陽町がどうなってほしいと思いますか

そのためにはどんなことをすると思いますか

※政策分野を1つ選んで考えてみましょう 選んだ政策分野 _____

そのためにあなたができることを考えてみよう

第7期菊陽町総合計画の全編はこちらから ⇒

https://www.town.kikuyo.lg.jp/kiji0034816/3_4816_18861_up_s8irxuu0.pdf



皆さんの声が様々な取り組みにもつながっています

菊陽町の「良くなってほしいところ」

○交通・安全

- ・通学路の歩道が狭い
- ・自転車で通りにくいから危険
- ・交通渋滞の場所が多い など



- ・計画的に道路を良くしたり、きれいにします (48頁)
- ・国や県とも連携しながら新しい道路をつくれます (47頁)
- ・通学路を点検して、安全を確保します (41頁)
- ・バスやタクシーなどのサービスを見直します (31頁)

○公共施設の充実

- ・スポーツができる施設が少ない
- ・公園の遊具が少ないから、遊べる場所を増やしてほしい など



- ・学校の体育館にエアコンを設置します (44頁)
- ・アーバンスポーツ施設をつくれます (48頁)
- ・杉並木公園の周りを総合運動公園として整備します (48頁)
- ・たくさんの人が楽しめるようなイベントを開催します (49頁)

半導体企業の進出による環境の変化に対して不安に思っていること

○環境への配慮

- ・水が汚れないか、地下水が減らないか



- ・県や関係する人と協力して、熊本の地下水を守ります (37頁)
- ・地下水をつくる米作りを大切にします (54頁)

○外国人の増加や言語への不安

- ・外国人が増えて言語が通じるか、文化の違い



- ・英語教育や日本語指導にも力を入れて取り組みます (43頁)
- ・外国人も安心して生活できるようなサポートをします (33頁)

○自然や農地の減少

- ・畑や田んぼがなくなる



- ・花いっぱいのみどりを大切にしまちづくりをします (37頁)
- ・畑や田んぼを守って、農業を大切にします (53頁)

大人だけでなく、こどもの皆さんも一緒に菊陽町をつくっていきましょう